

ひとりひとりを大切にする千葉市政を!

千葉市議会議員 (中央区)

議会報告

亀井たくま ニュース

発行 亀井 琢磨 2015年春の便り号 (通算第24号)
自宅 〒260-0042 千葉市中央区椿森3-13-8 携帯 090-3694-4173
事務所 〒260-0042 千葉市中央区椿森5-4-5 TEL/FAX 043-255-8108
ホームページは「亀井たくま」で検索をお願いします! メール DQG06110@nifty.com



市政全般の課題について、広く質問・提案! 議員の期末ボーナス増額案は、筋を通し「反対」を貫く!

平成26年第4回定例議会(12月議会)が開催され、亀井たくまは連続15回目の質問(代表質問)に登壇し、この間、市民の皆様からいただいたご意見をもとに市政全般の課題について広く質問・提案を展開しました。(詳細は2~3面)
このほか、12月議会では、市提出の議案20件を審議し、可決しました。主に「学校施設の老朽化・耐震補強」(29億円)等の予算の補正が中心でした。
早いもので、任期も残すところ2・3月議会のみとなりました。最後まで「亀の歩み」で市政に全力投球してまいります! よろしくお願いたします!

「身を切る改革」に逆行する「議員ボーナスの増額」に反対!

~市議会は今後も議会改革・権能強化を!~

12月議会では、市人事委員会勧告を受け、市職員のボーナス(期末手当)の増額案が提案されましたが、同時に市議会議員のボーナス(期末手当)の増額案も提案されました。市職員のボーナスは年間平均8万円増額し、市議会議員のボーナスは年額13万8000円増額するという内容です。

財政難により、職員にも給与カットが続く中で、亀井は今回の人事委員会勧告を尊重し、職員ボーナス増額案には「賛成」しましたが、議員ボーナスの増額案は「今後も議会・報酬改革が必要で、増額は大義がない」として「反対」しましたが、残念ながら賛成42、反対10で可決されました。

※この件では、共産党市議団(6名)が「共産党以外の議員がすべて増額案に賛成した」というニュースを配布していますが、全くのデタラメで事実無根です。共産党以外に、亀井を含め他に4議員が反対しています。(市議会だよりにも書いてあります)



市政の各分野で質問・提案に立ちました!

福祉・介護

難病患者への支援

Q 「難病新法」による難病患者の方々への新たな支援は。

A 対象となる難病は56疾患から今年1月には110疾患、夏には約300疾患となり、自己負担割合の引き下げ、自己負担限度額の軽減などの支援を行う。市内対象患者数は平成26年3月末は6098名だが、平成27年夏には10700名と見込んでいる。すでに認定を受けている患者とともに、新たに対象となる市民への周知を行い、円滑な事務手続きを目指す。

地域包括ケアシステム

Q 認知症対策の現状と課題、今後の取り組みは。

A 早期発見・早期支援のため、「あんしんケアセンター」の増設、「認知症相談コールセンター」「認知症疾患医療センター」の設置を行い、今年度は認知症の専門家チームが訪問支援を行う「認知症初期集中支援チーム」を設置し、モデル地域で事業をスタートしている。この取り組みを共有化し、今後の支援に活かしていく。今後、「初期集中支援チーム」の本格的実施に向けての体制整備をはかっていく。また地域での認知症早期発見のため、「認知症コーディネーター」「認知症地域支援推進員」とともに、「サポーター養成講座」など子どもも含めた市民への啓発活動に力を入れていく。



文化芸術の活性化・女性の社会参画・活躍

若者の文化・芸術活動の支援

Q 若い世代の文化活動への支援と環境整備は。

A 若い世代が音楽や美術等でプロのアーティストから直接指導を受ける機会は重要で、地域文化の発展にもつながると考えている。今年度、稲毛海浜公園で地元の高校生・大学生がプロの彫像彫刻家から指導を受け、「ちばサンドアート」を開催するなどの取り組みをしている。また市内の中学~大学生を対象に「文化芸術に対する若者意識調査」を行い、それをもとに次期「千葉市文化芸術振興計画」において、若者の文化・芸術活動への支援を検討していく。

男女共同参画・女性の活躍

Q 男女共同参画センターの果たすべき役割・活性化は。

A 多様な価値観を反映する社会の実現に向け、国以上に女性の意見や感性を市政に反映していく必要があると認識している。センターでは、地域での男女共同参画の視点に立つ組織・団体とのネットワークの充実をはかっていく。また地域における女性活躍の核となる人材の発掘・確保・育成を行い、企業への意識啓発、若年層へのキャリア教育等を充実させていく。

経済活性化・再生可能エネルギー導入

企業誘致の推進

Q 市内への企業誘致の効果は。今後も促進を。

A 平成25年度に補助金によって誘致した企業25社は、平成27年度には補助金以上の税収をもたらしている。平成33年度段階の試算では、累計9億6000万円の補助金に対し、約25億4000万円の市税収入が見込まれ、約15億円の効果があると見込んでいる。雇用者数も6年間で600名の正規雇用が増加している。今後も市内企業の追加投資等への補助を行うことや、市民を雇用した場合の補助を行い、市内定着・雇用促進を目指していく。

下水道における再生可能エネルギーの活用

Q 市内下水道施設における再生可能エネルギーの活用を促進を。

A 南部浄化センター(中央区村田町)において、「消化ガス発電」の導入を決定。汚泥の減量化を目的に消化層の改造も進めており、さらに消化ガスの増加が見込まれ、投資効果が期待できる。平成27年度中の稼働を目指して、発電設備の建設を進めている。これにより、南部浄化センターの年間使用電力の約1割をまかなうことができ、約4800万円の経費削減が可能となる。今後もさらなる発電の拡大を検討していく。

子ども・子育て・教育

保育の安心・安全

Q 保育施設での虐待事件(中央区弁天)を受け、指導強化や保育の人材確保を。

A 虐待事件を受け、保護者・保育士等から虐待通報ができるシステムを市ホームページに開設し、11月から運用している。通報があった場合、速やかに立入調査等の迅速な対応を行う。
また市独自に保育所長を務めた元職員を専任の嘱託職員として配置し、各施設へ巡回指導を行い、これにより、日常的な指導、苦情・トラブルへの対応、特別支援の推進、児童虐待の防止などに今後も努めていく。



保育士確保策では、潜在保育士の再就職のための研修や認可外保育施設の認可取得促進に向け、施設職員の保育士資格取得の支援を行っている。

男性の育児促進

Q 男性のさらなる育児参加の促進を!

A 男性の育児参加は重要であり、今後も意識改革が必要と認識している。現在、「イクメンハンドブック」を配布しているが、今年度から「プレパパ・ママ講座」「パパスクール」「イクメン応援イベント」などの実施や男性の育児休業取得促進の補助制度を創設している。今後、インターネットも活用した新たな取り組みも検討していく。



ひとり親家庭への支援

Q ひとり親家庭へのさらなる支援を!

A ひとり親家庭では、「経済的な課題・悩み」が一番多いことから、介護・パソコンの資格取得の講習会等の「就業支援」、母子自立支援員による自立に向けた相談・支援などの「子育て・生活支援」、「経済的支援」を推進している。今後策定する「子どもプラン」において、計画的に支援を行うことを位置付けていく。また家庭によっては、支援施策が十分に行きわたっていない状況もあることから、情報提供と相談体制の強化に取り組んでいく。

少人数教育の推進

Q 少人数教育の推進を!現在の取り組みと今後の可能性は。

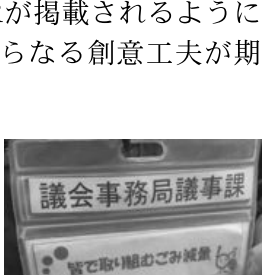
A 少人数による加配教員は24名を配置し、そのほかに今年度、市費で43名の少人数指導教員を配置し、きめ細かい学習指導、学級崩壊への対応、特別支援の推進にあたっている。今後、本市でも県費教員の給与等の権限移譲をふまえ、35人学級を念頭に、弾力的な学級編制と教員配置を検討していく。

このほか、紙面の都合で掲載できませんが、「新年度予算」「市役所本庁舎整備」「職員の人材育成」「市民シンクタンクモデル事業」「焼却ごみの削減」「都市公園の管理」「市営住宅」「児童・生徒の地域社会への参加」「風水害発生時の消防体制」の分野で質問を行いました。

皆様の声の実現! ~あの質問・提案はどうなった?~

市役所の接遇力向上の取り組みが前進!

平成26年6月議会において、「市民に親しまれる市役所づくり・接遇力向上」というテーマで質問・提案を行い、「職員の名札」を目標、モットーで、セールポイント、市の施策のPRなどを掲載してはどうかと提案したところ、現在、その取り組みが開始され、「ごみ減量推進」のPRが掲載されるようになりました。今後もさらなる創意工夫が期待されます。



職員の名札のスペースを有効活用して、PRを!

また、「来庁した市民へのあいさつ促進」を提案しましたが、人材育成課を中心に、1月には挨拶運動のキャンペーンが展開されています。引き続き、「市民に身近で親しい市役所」を求めています。

千葉駅弁天口(池尻地下道)での歩行者・自転車の安全対策が実現へ!

平成26年9月議会、千葉駅弁天口の池尻地下道での自転車のマナー違反が多く、物理的な改善が必要だと質問・提案しましたが、このたび、自転車が必要と走行できないような改善を行う旨の回答が中央・美浜土木事務所よりありました。工事は2月中旬に完了予定です。(また次号でも報告します)

千葉競輪場廃止の方針示される!

~跡地活用は地元意見尊重を!地域活性化を!~

このたび千葉競輪場廃止の方針が示されました。今後の方向性や跡地の利活用について、これからの議論となりますが、地元選出議員として、千葉公園およびスポーツ施設等も含め、一体的な整備を求めていきます。その際には、市の老朽化した施設を誘致・複合化して建設するなど、「千葉駅北口地域の活性化」の視点も大切だと思います。この件については2・3月議会でも質問・提案する予定です!

市政へのご意見は

TEL/FAX 043-255-8108

携帯電話 090-3694-4173

(事務員もおらず、1人で活動しておりますので、留守が多いです。携帯電話が留守番電話にメッセージをお願いします!お手紙も大歓迎です!)

ホームページ <http://www.kamei-takuma.com>

メール DQG06110@nifty.com



フェイスブック、ツイッター、ブログもやっています! 亀井たくまで検索を!

亀井たくまのプロフィール

1980年生まれ。椿森出身・在住。34歳。作草部幼稚園、都賀小、椿森中、市立千葉高、早稲田大学政経学部、同大学院公共経営科学研究科修了。行政書士、社会福祉士、椿森3丁目・5丁目役員。千葉市スポーツ推進委員。公共内小スポーツ振興会委員、椿森中青少年育成委員会委員。青少年相談員。ホームヘルパー2級。防災士。保健消防委員会委員、大森市・防災対策特別委員会副委員長。2007年の市議選は21票差で落選。2011年、5622票を頂戴し当選。日々修行中です!
趣味は明治~昭和の懐メロです。(介護施設、老人会、自治会等で懐メロの演奏・茶話会のボランティアができます!詳しくはお電話ください!)好きな歌手は灰田勝彦、東海林太郎です。

市民の皆様と一緒にクリーン・あたたかな市政をめざします!

ワンコインカンパ(1口500円・複数口大歓迎!)にご協力ください。

郵便振替口座 00190-7-456984 亀井たくまと亀の歩みの会

最後までお読みいただきまして、ありがとうございました!